

### 2024 年度本部委員会功労賞候補者推薦について

日本分析化学会は、多年にわたって本会本部委員会及び小委員会で活動し、本学会を通じて分析技術の発展に貢献された方を表彰して「本部委員会功労賞」を贈呈します。

下記の本部委員会功労賞規程により 2024 年度本部委員会功労賞候補者を募集します。関係各位におかれましては、適任者がおられましたらご推薦くださいますようお願い申し上げます。

#### 『本部委員会功労賞規程』

第 1 条 本会に本部委員会功労賞を設け、多年にわたり公益社団法人日本分析化学会本部委員会及び小委員会で活動し、本学会を通じて分析技術の発展に貢献した者に、これを贈呈する。対象となる委員会は別紙に定める。

第 2 条 本部委員会功労賞は、賞状を年会又は討論会において贈呈する。

第 3 条 本部委員会功労賞候補者の推薦者は、本部委員会委員長及び現在休止・廃止している委員会については元委員長とし、その委員会に所属する者又は過去に所属した者を推薦することができる。複数の委員会の活動を合わせて申請することができる。

第 4 条 前条によって推薦される者は、本会正会員にして、申請する年の 2 月末日をもって、合計 10 年以上第 1 条の活動に従事した者とする。

第 5 条 候補者の推薦に際しては、次の (1)～(2) に規定する書類を電子媒体にて、指定された日までに本会に提出するものとする。

(1) 推薦書 (2) 被推薦者理由書 (いずれも本会所定の用紙)

第 6 条 各委員会からの申請は各年で 3 件以下とする。授賞数は 10 件程度とする。

第 7 条 本部委員会功労賞候補者の選考は、本部委員会功労賞審査委員会において行う。審査委員は、理事会が本会副会長及び庶務担当理事より 5 名を選考し、会長がこれを委嘱する。委員長は、筆頭副会長又は表彰業務担当副会長とする。

(別紙) 本部委員会功労賞の対象となる委員会

標準物質委員会、技能試験委員会、分析化学技術者教育企画委員会、分析士認証委員会、ぶんせき編集委員会、分析化学編集委員会、Analytical Sciences 編集委員会、X-ray Structure Analysis Online 編集委員会、広報委員会、会員・広報協議会、学術振興協議会、学術会合協議会及びそれらに属する小委員会

(以下省略)

☆

☆

1) 2024 年度本部委員会功労賞授賞式は、2024 年 9 月 12 日 (木) 第 73 年会 (名古屋工業大学) において行う予定です。

2) 推薦書類 (推薦書、被推薦者理由書：本会所定の用紙) は、下記期限までに提出してください。

3) 推薦期限：2023 年 12 月 31 日

4) 推薦書類提出先：日本分析化学会本部委員会功労賞係 (E-mail：shomu@jsac.or.jp)

5) 所定の書類を入用の場合は、<https://www.jsac.jp/jsac/rule/commendation/> からダウンロードしてください。

## 第388回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会, (公社)日本化学会, (公社)日本分析化学会

HPLCはサンプルが固定相と移動相のどちらに分配するか、その差によって分離を行います。固定相は逆相、順相、イオン交換などさまざまな分離モードがあり、良好な分離を得るためにはカラムの選択が重要です。本例会では、HPLCの分離技術について、分離のメカニズムや各種カラムの性能や特長をはじめとした基礎的な内容から具体的な使用方法について講演をしていただきます。

期日 2023年10月20日(金) 13:00~16:55

会場 (株)日立ハイテクサイエンス サイエンスソリューションラボ東京〔東京都中央区新富2-15-5 RBM 築地ビル, 交通: 東京メトロ有楽町線「新富町」駅より徒歩1分(5番出口利用), 東京メトロ日比谷線「築地」駅より徒歩4分(4番出口利用), JR京葉線・東京メトロ日比谷線「八丁堀」駅より徒歩8分(A3出口利用)〕

<https://www.google.com/maps/search/?api=1&query=35.671216%2C139.775152>

講演主題 HPLCの分離技術について考える

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13:00~13:05)

(株)日立ハイテクサイエンス 清水克敏  
(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

1. 目的成分に応じたODSカラムの選択方法(13:05~13:40)  
(ジエールサイエンス(株) 太田茂徳  
(LC分析士初段)

2. C18以外の逆相LC固定相と、選択性について  
(13:40~14:15)  
(株)クロマニックテクノロジーズ 小山隆次  
(LC分析士二段)

3. イオン交換クロマトグラフィーの基礎原理とアプリケーション(14:15~14:50)  
(三菱ケミカル(株) 福田義人  
(LC分析士初段)

休憩(14:50~15:10)

4. コアシェル充填剤の特長(15:10~15:45)  
(株)クロマニックテクノロジーズ 長江徳和  
(LC分析士二段)

5. UHPLCの高速性能と高分離性能は本当にトレードオフ関係なのか?(15:45~16:20)  
(株)日立ハイテクサイエンス 伊藤正人  
(LC分析士五段)

6. 総括「HPLCの分離技術について考える」(16:20~16:55)  
(東京理科大学) 中村 洋  
(LCマイスター, LC/MSマイスター)

参加費 LC研究懇談会・個人会員:1,000円, LC研究懇談会・団体会員及び後援学会会員:3,000円, その他:4,000円, 学生:1,000円。参加申込締切日後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(会費4,000円)。参加申込締切後のご参加はできませんので、ご了承ください。

申込締切日 10月13日(金)(入金締切時刻:15時まで)

申込方法

1. 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の

連絡事項欄に振込者名を明記してください。

2. お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス宛に「第388回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は、世話人までお問い合わせください。

3. 申込み受付のメールを受領後、必ず期限内に参加費の納入を行ってください。期限内に参加費納入が確認できない場合、参加申込みを無効とし参加URLを発行しませんので、十分ご注意ください。なお、一旦納入された参加費は、返金いたしません。

4. 参加費の納入が確認できた方には、2023年10月13日以降に要旨集をメールにてお送りします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。なお、請求書と領収書の発行はいたしておりません。領収書は、振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます。

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意 例会参加費、情報交換会参加費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1. 複数例会の参加費の同時振込

(→例会ごとに振り込んでください)

2. 複数参加者の参加費の同時振込

(→参加者ごとに振り込んでください)

3. 年会費や他の費用との合算振込

(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/6fE78TRUXkhZo9QZA>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341 口座名義:シヤ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 (株)日立ハイテクサイエンス 清水克敏 [E-mail: [katsutoshi.shimizu.wp@hitachi-hightech.com](mailto:katsutoshi.shimizu.wp@hitachi-hightech.com)]

## 2023年度関東支部「新世紀賞」・「新世紀新人賞」候補者募集

関東支部では2000年より新世紀賞および新世紀新人賞を設け、表彰を行っています。適当な候補者がおられましたら、ご推薦の程お願いいたします。

**新世紀賞資格** ①2023年4月1日現在で満36歳以上45歳以下の者で関東支部所属の正会員。ただし、上限年齢を超えても受け付ける場合\*がある。②研究業績は、本会論文誌またはその他の論文誌に公表されたものでなければならない。③受賞の基礎となる研究業績が共同研究の場合は、主たる研究者について適用する。④候補者となるべきものは会員の推薦によるものとする(自薦を含む)。⑤ただし、日本分析化学会奨励賞受賞者は除く。

\*上限年齢は、研究職からの異動、産休・育休、また長期療養などのライフステージを考慮する。

**新世紀新人賞資格** ①2023年4月1日現在で満35歳以下の関東支部所属の正会員。②研究業績は、本会論文誌またはその他の論文誌に公表されたものでなければならない。③受賞の基礎となる研究業績が共同研究の場合は、主たる研究者について適用する。④候補者となるべきものは会員の推薦によるものとする(自薦を含む)。⑤ただし、日本分析化学会奨励賞受賞者は除く。

提出書類

**新世紀賞** ①推薦書(関東支部HP(<https://kanto.jsac.jp/award/>)よりダウンロード)、②推薦理由書(A4判用紙を縦(1行45字×40行))に使用し、本文及び文献(主要論文)を

合わせて3ページ以内で作成すること), ③添付資料(特に重要な論文の別刷, その他審査の参考となる資料)

**新世紀新人賞** ①推薦書(関東支部HP(同上)よりダウンロード), ②推薦理由書(A4判を縦(1行45字×40行)に使用し, 本文及び文献リスト(主要論文等)を合わせて3ページ以内で作成すること), ③添付資料(特に重要な論文・特許等の写し, 3編以内)

**提出方法** 上記書類を電子ファイルとし, 推薦者より書類提出先記載のE-mailアドレス宛送信(cc:候補者)のこと(ただし自薦の場合は候補者より送信, いずれも押印不要)。①, ②についてはそれぞれ1件のファイルとすること。③については複数のファイル送付も可とするが, 必要最小限とすること(いずれもPDFファイルを推奨)。なお, 事務局にてメールおよびファイルを受信後, 受領通知が送信されるので, 確認のうえ, 受領通知のメールは保管のこと。送信後1週間以内に受理通知が届かない場合は書類提出先アドレスに必ず問い合わせのこと。

**締切日** 2023年10月31日(火)必着

**書類提出先** 日本分析化学会関東支部事務局  
[E-mail: kanto@jsac.or.jp]

## 分析化学イノベーションフォーラム助成の案内

日本分析化学会関東支部では, このたび広い意味での分析・計測研究分野およびその利用による科学現象の機構解明に関する学術的・技術的に重要なテーマの解決を目指す「分析化学イノベーションフォーラム(以下, フォーラムと略)」を募集し, その活動を支援することといたしました。本フォーラムでは, 産官学が共同で研究することで人的交流を促進し, 分析化学イノベーションに資することを目的とします。全国の会員からの積極的なご応募を期待しています。

**応募資格** 申請者は, 正会員1名を含む総数4名以上のフォーラム委員会を構成する。なお, 経理担当者は関東支部所属の正会員とする。また, 非会員の委員は採択され次第, 日本分析化学会に入会すること。

**応募締切** 2023年10月31日(火)

**助成期間** 2023年12月から2025年2月

**件数と金額** 1件以内。70万円を上限に支給する。

**助成内容等** フォーラム運営費にのみ支払可能とする。具体的には, 旅費, 謝金, 会議費, 印刷費とする。なお, 年1回以上, 会計報告および進捗状況の報告を行うものとする。

**照会・申請書提出先** kanto@jsac.or.jp

## 第17回茨城地区分析技術交流会

**主催** (公社)日本分析化学会関東支部・同茨城地区分析技術交流会

**期日** 2023年12月1日(金)

**会場** ザ・ヒロサワ・シティ会館〔茨城県水戸市千波町東久保697, 交通: JR常磐線「水戸」駅, バス・タクシーで20分あるいは徒歩20分〕

**プログラム**

12.00~受付

12.30~12.35 開会挨拶

(株)日立ハイテクサイエンス 坂元秀之

12.35~13.25 化粧品の分析 (株)コーセー 安田純子

13.30~14.20 発生気体分析—質量分析の高度化とその応用

((国研)産業技術総合研究所) 津越敬寿

14.25~15.45 ポスター発表(分析研究, 技術開発の紹介など)

15.50~16.40 配向試料の重ね合わせにより生じる円二色性  
(共)高エネルギー加速器研究機構 武智英明

16.40~16.45 閉会挨拶

((独)茨城工業高等専門学校) 澤井 光

17.00~18.30 情報交換会

**ポスター発表申込** 電子メールにて(はがきも可)①発表題目, ②所属, ③発表者氏名(発表者に○), ④発表区分(学生 or 一般), ⑤連絡先を明記のうえ, 下記連絡先までお申し込みください。申込締切は**10月27日(金)**です。なお, ポスター賞(学生および一般)を設けていますので, 奮ってご応募ください。

**ポスター発表要旨** A4用紙1枚(上下左右マージン2.5cm)に, ①発表題目, ②所属, ③発表者氏名(発表者に○), ④発表要旨(形式自由)を記入し, 原則としてPDFファイルにて下記連絡先まで電子メールでお送りください(郵送も可)。提出締切は**11月3日(金)**です。なお, ポスターサイズはA0に収まるサイズで作製してください。

**参加費** 無料

**情報交換会** 講演及びポスター発表終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します。会費3,000円(一般), 1,000円(学生)は当日受け付けます。

**参加申込** 交流会参加希望者は, 所属, 氏名, 情報交換会参加の有無を明記のうえ, **11月17日(金)**までに, 電子メールにて下記連絡先へお申し込みください。

**連絡先** 〒104-0041 東京都中央区新富2-15-5 RBM 築地ビル (株)日立ハイテクサイエンス 坂元秀之

[E-mail: hideyukisakamoto.uh@hitachi-hightech.com]

なお, 交流会の情報の詳細は, 下記アドレスの茨城地区のページをご参照ください。

<https://kanto.jsac.jp/ibaraki/>

## 第29回 LC & LC/MS テクノプラザ

～講演&参加者募集～

**主催** (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会(LC懇)

**共催** LCシニアクラブ

**後援** (公社)日本分析化学会, (公社)日本化学会, (公社)日本薬学会

LCおよびLC/MSを日常的に利用しているオペレーター, 技術者の方々の情報交換, 問題解決・相互交流の場として, 標記テクノプラザを開催します。本プラザの特色は, 従来の機器・カタログ展示や一般講演に加え, 現場の共通の悩みをその都度「集中テーマ」として取り上げ, 実例を材料として具体的に議論することです。問題を解決できた例, 問題提起の段階でとどまっている例, これから問題になりそうな事柄などが, いずれも「集中テーマ」の対象になります。

この会の主要な目的の一つは, 発表していただいた個々の問題を参加者全体の共通の認識にすることにあります。したがって, 未解決の問題や失敗例でも一向に構いません。役に立つ情報であれば, いわゆるオリジナリティーには必ずしもこだわりません。なお, 本テクノプラザの講演者は, 次年度の「液体クロマトグラフィー努力賞」の審査対象となります。

**期日** 2024年1月18日(木)・19日(金)

**会場** 横浜市金沢産業振興センター〔神奈川県横浜市金沢区福浦1-5-2, 電話: 045-782-9700, 交通: ①JR京浜東北・根岸線「新杉田」駅から, 金沢シーサイドラインで11分の「産業振興センター」駅より徒歩1分, ②京浜急行線「金沢八景」駅から, 金沢シーサイドラインで14分の「産業振興センター」駅より徒歩1分。〕

**講演募集分類** ①集中テーマ: (A) 前処理における諸問題,

(B) 分離における諸問題, (C) 検出・データ解析における諸問題, (D) 未解決の諸問題, 教訓的失敗例, ②一般テーマ。

なお、以下の講演・表彰なども予定されております。啓育講演（中村 洋、東京理科大学）、LC/MS マイスター講演（竹澤正明、東レリサーチセンター）、現地世話人講演（川口研、産総研）、CERI クロマトグラフィー分析賞受賞講演、LC 科学遺産認定講演、POTY 賞受賞講演、ベストオーガナイザー賞表彰（高橋 豊、エムエス・ソリューションズ）、第28回テクノプラザベストプレゼンテーション賞表彰。

発表形式 口頭発表およびポスター発表

講演申込先 LC 懇のホームページから下記 URL に必要事項を明記してください。

①講演申込 URL

<https://forms.gle/XqL9NnhjoxztzttXF9>

（この URL から参加申込は禁止）

講演申込締切 12月7日（木）

講演要旨締切 12月21日（木）執筆要領に従って要旨を作成し、電子メールに添付。

講演要旨執筆要領

1. 日本語は MS 明朝、英数字は Century で入力。
2. A4 判白紙を縦に使用し、横 17 cm、縦 25 cm の枠内（標準は 1 行 38 字、1 枚 38 行）にワープロで 1~2 枚作成してください。要旨集は A4 判で作製します。
3. 講演番号記入（14 ポイント）欄として、1 枚目の左上隅（左 8 字×4 行分）は空白としてください。
4. 講演題目（強調 14 ポイント）を書き、1 行空けて発表者の所属と氏名を書く（強調 12 ポイント）。所属は括弧内にまとめ、氏名にはふりがなを、また発表者の氏名の前には○印を付けてください。
5. 所属・氏名の下を 1 行空けて、目的、実験、結果、考察などに分けて本文（10.5 ポイント）を書いてください。
6. 2 枚目は最上段から書いてください。

要旨提出先 Word 版と PDF 版を下記に添付してください。

E-mail : nakamura@jsac.or.jp

登録費 一般 5,000 円、学生 3,000 円。

情報交換会 1 月 18 日（木）17 時 30 分より大会議室（参加費 5,000 円）

参加申込先 プログラムは編成が終わり次第、LC 懇ホームページに掲載しますので、下記 URL より登録申込、情報交換会申込、昼食申込をしてください。

昼食に関するご注意 会場内には定員 20 名程度の軽食店があるのみで、最寄り駅付近にも適当な店がありません。そこで、会期中は昼食用に大会議室を 11 時~13 時に確保しましたので、昼食（飲み物付き、1,200 円）が必要な場合は併せて申込をしてください。

②参加および昼食の申込 URL

<https://forms.gle/iYaQLWYjJWUT5o7C8>

参加申込および登録費等納入締切日 1 月 4 日（木）（入金締切時刻：15 時まで）

銀行送金先 りそな銀行五反田支店（普通）0802349、口座名義：シヤ）ニホンブンセキカガクカイ〔（公社）日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

——以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

### 第 69 回ポーラログラフィーおよび電気分析化学討論会

主催 日本ポーラログラフ学会

期日 2023 年 10 月 25 日（水）・26 日（木）

会場 福江文化会館

ホームページ <http://www.polaro.jp/meeting.html>

連絡先 〒852-8521 長崎県長崎市文教町 1-14 長崎大学大学院工学研究科 物質科学部門 討論会世話人 相楽隆正〔電話・FAX：095-819-2676, E-mail：polaro2023nagasaki@gmail.com〕

### プラズマ分光分析研究会第 120 回講演会 —微量元素の視点で SDGs を考える—

主催 プラズマ分光分析研究会

期日 2023 年 10 月 27 日（金）

会場 京都大学宇治おうばくプラザきはだホールおよび Zoom によるオンライン

ホームページ <https://plasma-dg.jp/>

連絡先 プラズマ分光分析研究会事務局 梅村知也

〔電話：042-816-3001, E-mail：office@plasma-dg.jp〕

### 「日本膜学会第 45 年会」・「膜シンポジウム 2023」 合同大会

主催 日本膜学会

期日 2023 年 11 月 20 日（月）~22 日（水）

会場 早稲田大学リサーチイノベーションセンター（121 号館）B1F

ホームページ

<http://www.maku-jp.org/symposium/>

連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-26-5-702

日本膜学会事務局〔E-mail：membrane@mua.biglobe.ne.jp〕

### 実用表面分析セミナー 2023

主催（公社）日本表面真空学会関西支部

期日 2023 年 11 月 22 日（水）

会場 神戸大学百年記念館六甲ホール

ホームページ [https://www.jvss.jp/chapter/kansai/kansai\\_jitsuyou24/](https://www.jvss.jp/chapter/kansai/kansai_jitsuyou24/)

連絡先 〒601-8510 京都府京都市南区吉祥院宮ノ東町 2

（株堀場製作所 日本表面真空学会関西支部 幹事 廣瀬 潤〔電話：090-5656-8504, E-mail：jun.hirose@horiba.com〕

## 第 38 回分析電子顕微鏡討論会

主催 (公社)日本顕微鏡学会分析電子顕微鏡分科会  
 期日 2023年11月30日(木)・12月1日(金)  
 会場 オンラインでの開催 (Zoomを予定)  
 ホームページ  
<https://sites.google.com/view/bunseki-denken38>  
 連絡先 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1  
 工学部研究棟 I 908 号室 熊本大学半導体・デジタル研究  
 教育機構 分析電子顕微鏡討論会事務局 佐藤幸生  
 [電話: 096-342-2281, E-mail: sato-yukio@kumamoto-u.  
 ac.jp]

## 新アミノ酸分析研究会第 13 回学術講演会

主催 新アミノ酸分析研究会  
 期日 2023年12月8日(金)  
 会場 大田区産業プラザ Pio  
 ホームページ <http://jsa3.s2.weblife.me/>  
 連絡先 新アミノ酸分析研究会 第 13 回学術講演会事務局  
 [E-mail: aminoacidanalysis2011@gmail.com]

## 「お知らせ」欄原稿について

支部並びに研究懇談会の役員の皆様: 掲載用の原稿ファイル  
 をどうぞ電子メールでお送りください。送り先は shomu@jsac.  
 or.jp です。原稿の長さに制限はありませんが原稿締切日は掲  
 載月の前々月 25 日 (例: 1 月号掲載→11 月 25 日締切) となっ  
 ておりますのでご注意ください。

本会外から掲載をご希望の場合は以下をご参照ください。

- 1) 掲載できるものは本会が共催、協賛、後援するものに限ら  
 れます。
- 2) 国際会議につきましては共催、協賛、後援申請に関する規  
 程並びにフォームがありますので、ホームページをご覧いた  
 だくか、本会事務局長宛にお問い合わせください。
- 3) 国際会議以外の講演会等に関しましては、会名、会場、主  
 催団体名、同代表者名、開始期日、終了期日、連絡先並びに  
 同電子メールを記載のうえ、書面でお申し出ください。
- 4) 掲載原稿の作成要領に関しましては承諾をご返事する際に  
 お知らせします。
- 5) 本会支部または研究懇談会が共催、協賛、後援を承諾した  
 事業につきましては、その旨をメールにお書きいただき、原  
 稿ファイルを shomu@jsac.or.jp にお送りください。

国際会議以外の共催、協賛、後援に関する規程抜粋  
 (共催)

8. 討論会、講演会等の共催とは、その討論会、講演会等の開  
 催について、本会は主体性を持たず、会誌等を通じて広報活  
 動等の援助を行う場合をいう。
9. 本会が討論会、講演会等を共催する場合は、その討論会、  
 講演会等の主要議題が本会の専門分野と関連を持ち、本会正  
 会員が会議の準備、運営等の委員に若干名加わることを条件  
 とする。
10. 本会が共催する討論会、講演会等に対しては、他学協会長  
 等の申し出によって会誌等による広報活動の援助を行う。特  
 に理事会の承認を得て分担金を支出することがある。  
 (後援又は協賛)

11. 討論会、講演会等の後援又は協賛とは、本会がその討論  
 会、講演会等の開催に賛同し、後援又は協賛団体の一つとし  
 て、本会名義の使用を認める場合をいう。
12. 本会が討論会、講演会等を後援又は協賛する場合は、その  
 討論会又は講演会が分析化学に関連を持ち、その開催が本会  
 会員にとっても有意義であることを条件とする。
13. 本会が後援又は協賛する討論会、講演会等に対しては、希  
 望に応じ会誌等による広報活動の援助を行うことがある。

## 『ぶんせき』再録集 vol. 1 出版のお知らせ

ぶんせき誌の過去記事の有効利用の一環として、記事をまと  
 めて書籍化するという試みを行っています。2021年5月10日  
 に、『ぶんせき』再録集 vol. 1 が出版されました。この巻には、  
 2011年から2020年まで、10年間分の〈ミニファイル〉の記事  
 が詰まっています。たっぷり256ページ、2,750円(税込み)  
 のお値打ち本です。多岐にわたる『知って得する分析化学の豆  
 知識』を堪能できます。本書は下記10章からなり、それぞれ  
 に12から14の話題が集められています。

1. 実験器具に用いられる素材の特徴
2. 分析がかかわる資格
3. 顕微鏡と画像データ処理
4. 最新の web 文献検索データベース
5. ポータブル型分析装置
6. 分析化学と材料物性
7. 分析化学者のための多変量解析入門
8. 土壌分析
9. サンプルング
10. 前処理に必要な器具や装置の正しい使用方法

過去のミニファイルをファイリングしておきたいときに、初  
 學者への参考書をお探しのときに、また、非学会員の方に分析  
 化学会のアピールをしたいときに、ぜひご活用ください。本書  
 はアマゾンオンデマンド出版サービスを利用して出版した書籍  
 です。書店には並びません。アマゾンサイトからのネット  
 注文のみとなりますので、ご注意ください。ネットで「ぶんせ  
 き再録集」と入力して検索しても、すぐに出てきます。詳しく  
 は「ぶんせき」誌ホームページをご確認ください。

## ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

『ぶんせき』編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業  
 の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器  
 が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度  
 化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性  
 を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が  
 持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっ  
 ても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・  
 機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な  
 分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や  
 前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっていま  
 す。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測  
 定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要  
 です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると  
 共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要がある  
 と考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事とし  
 て「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、  
 機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知す

ることが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

## 記

1. 記事の題目：「技術紹介」
2. 対象：以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
  - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
  - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
  - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
  - 4) 分析に必要なとなる試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
  - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
  - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性：本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先：日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会  
[E-mail: bunseki@jsac.or.jp]

## 「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdf ファイルを進呈することといたしました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式（P：印刷ページ数）（単位：円）

会員の場合： $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ （印刷ページ数が14ページ以上は一律 80,000 円）

会員外の場合： $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ （印刷ページ数が14ページ以上は一律 90,000 円）

\*上記に消費税がかかります。